

滋賀県看護連盟だより

# 滋賀

しが

第24号

平成24年1月5日発行

発行/滋賀県看護連盟 発行責任者/赤沼フサ枝  
〒524-0037 滋賀県守山市梅田町2-1 セルパ守山101 TEL.077-514-1331  
メールアドレス shiga-kangorenmei@extra.ocn.ne.jp

新年あけまして  
おめでとうございます。



マキノプリンスホテル前桟橋 雪景色



看護の心を、  
みんなの心に

## 目次

## Contents

|                       |                 |     |
|-----------------------|-----------------|-----|
| ● 新年のごあいさつ            | 日本看護連盟会長 清水嘉与子  | 2   |
| ● 新年のごあいさつ            | 滋賀県看護協会会長 井下照代  | 2   |
| ● 新年を迎えて              | 滋賀県看護連盟会長 赤沼フサ枝 | 2   |
| ● 新年のごあいさつ            | 衆議院議員 あべ俊子      | 3   |
| ● 新年のごあいさつ            | 参議院議員 高階恵美子     | 4   |
| ● 活動報告                |                 | 5   |
| ● 支部活動報告              |                 | 6   |
| ● 青年部だより              |                 | 7   |
| ● 今後の予定               |                 | 裏表紙 |
| ● 退任役員・新役員紹介          |                 | 裏表紙 |
| ● 平成24年度の入会受付が始まりました。 |                 | 裏表紙 |





## 新年のごあいさつ



日本看護連盟 会長 清水嘉与子



明けましておめでとうございます。

昨年の東日本大震災は被災地のみならず、日本中に衝撃を与えました。命がけで患者さんを護った被災地の看護

師たち、そして全国に広がった支援の輪、素晴しかったですね。

こんな国の一大事の中で政権交代後3人目の総理大臣が誕生しましたが、大震災・放射能被害からの復興、沖縄基地問題、TPP問題など野田内閣の目の前には課題山積です。まずは総理にしっかりとリーダーシップを発揮していただきましょう。

政治情勢が不安定な中でも高齢化はどんどん進んでいます。世界一の長寿国であることをみんなが実感できるようになるためにも、看護職の働く環境を整え、その能力を医療機関の中だけでなく在宅においてもしっかりと活用できるようにするべきでしょう。そのためにも日本看護連盟は次期参議院選挙に看護の代表を送る活動を進めて参ります。

皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



## 新年のごあいさつ



(社)滋賀県看護協会 会長 井下照代



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災をはじめ9月に紀伊半島を襲った台風12号など、

日本各地で自然災害が

多発し甚大な被害に見舞われました。いまもなお多くの被災者が避難生活を余儀なくされ支援を求めています。協会も継続して災害支援体制の充実に取り組んでいきたいと思っています。

さらに、昨年に引き続き「看護職が働き続けられる労働環境の改善」を重点政策・重点事業として掲げ、積極的に推進したいと考えています。厚生労働省から2011年6月に出された「看護師等の『雇用の質』の向上に関する省内プロジェクト報告」では、看護師等の勤務環境の改善なくして、持続可能な医療提供体制や医療安全の確保は望めない、としています。勤務環境改善には、喫緊の課題である長時間勤務、夜勤・交代制勤務、勤務時間間隔などの法制化が必要です。そのためには、医療現場、行政、関係団体が情報を共有し、連携していくことが重要です。なかでも同じ看護職の仲間である滋賀県看護連盟と強力なタッグを組むことが実現への第一歩であると考えています。どうか今年もご協力・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 新年を迎えて

滋賀県看護連盟 会長

赤沼フサ枝



新年を迎え、また新たな気持ちで年を重ねていきたいと思っています。

特に昨年は、あべ俊子、高階恵美子両議員が東北大震災の支援に身体ごとぶつかって活動されたのをはじめ、多くの国会議員と看護問題の勉強会を重ね、「これぞ看護職代表議員」とお二人の活躍に鼻を高くしております。

しかし、今日もなお働ける看護職の絶対数がこんなにも足りないのは、我が滋賀県独自の課題なのか真剣に悩みながら、昨年の10月22日には県議会議員、市議会議員の皆様と医療・看護の課題を協議する交流会を開催させていただき、11月16日には12月の県議会に向けて要望活動も行いました。その結果、昨年度

に引き続き「看護師不足」について、奥村芳正議員が19項目に渡って質問され、健康福祉部長から今後「努力する」との回答を得て頂きました。

厚労省の唱える「雇用の質」の改善が一刻も早く実現するよう、看護協会と共に今年も真剣に取り組んでいきます。

今年も多くの看護職の皆様と出会い、現場の生の声をきちんと政策に生かせるよう、皆様のご期待に応えられるよう連盟活動を推進したいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。





## 新年のごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子



看護問題小委員会



厚生労働委員会質疑

滋賀県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また滋賀県看護連盟の皆様には、昨秋のあべ俊子後援会の拡大活動にもご協力を賜り、本当にありがとうございました。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。震災の被害も計り知れないほど大きいものでしたが、それに伴う原発事故の影響は電力供給への不安をもたらし、また様々な食物に対する風評被害が危惧されるなど、多くの国民の皆様が大変なご心労、ご苦勞をおかけしていることを心苦しく感じた一年でもありました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のりを一歩ずつ着実に歩んでいけるよう、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

昨年は国会では、自民党の国会対策委員会副委員長を拝命し、また厚生労働委員会・文部科学委員会をはじめとした4つの委員会に身を置いて活動いたしました。所属の委員会だけではなく、農林水産・財務金融・消費者問題など様々な委員会で質問の機会をいただけたことから、会期中は地元岡山との往来も含めて毎週多忙を極めました。看護以外の分野を広く学ぶことで知識だけでなくものの見方や考え方も広がり、そういった経験が今後看護界のために必ず役立っていくものと確信しています。

これからの復興には、政界全体がまともになくは進まないことも多々あります。常に国民の皆さんの暮らしの安定を第一に考える野党として、政治と政局とを切り分けて国会運営に臨む姿勢を崩さず、今後も行動していきたいと思っております。

そして看護職の皆さんにも現場が良い方に変わったと少しでも実感していただけるよう、今年も変わらず精一杯頑張っております。どうか本年も、皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



(地元活動) 花火大会



(地元活動) 備前焼まつり



(地元活動) 野球大会





## 新年のごあいさつ

参議院議員 高階恵美子



参議院本会議代表質問



参議院本会議代表質問



がんばろう東北！東北全小選挙区ふるさと対話集会



暮らしの保健室視察



宮城県色麻町「かつぱのふるさとまつり」

滋賀県看護連盟の皆様へ、謹んで初春のお慶びを申し上げます。いつも変わらぬ皆様方のご尽力に対し、改めて衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、東日本大震災をはじめ、豪雨による被害など甚大な災害に見舞われた年となりました。これらの災害は、多くの悲しみや苦難をもたらしましたが、一方で社会とのつながりの重要性やその価値観、命の大切さを再認識する機会ともなりました。かねてより、看護職は命を守り、社会のつながりの中で人々に寄り添って参りましたが、今このような時代だからこそ、頼れる専門職として、看護職に対する信頼や期待が高まっていることと思います。

私は、国会の代表質問や委員会審議を通じて、今まさにわが国が「命の危機状態」にあること、そして政府として「命の危機宣言」をすべきであると進言してまいりました。震災による恐怖、不安、動揺は心に与える影響も大きいと考えるからです。失われずにすむ命をしっかりと守るために適確な施策を迅速に講じる必要があります。身近な場所からその人が必要としている手を差し伸べることができるよう、見守り、サポートする体制が必要です。このような場面において、看護職であればこそ大いに活躍できることでしょう。

どのように政局が不安定な状況にあろうとも、国民の生活は安定したものでなければなりません。今年は、診療報酬・介護報酬の見直し、社会保障と税の一体改革など社会保障制度に関して大きく動く年です。社会保障の担い手として、看護職の皆様が生き生きと活躍していくことができるよう、将来をしっかりと見据えて活動をしてまいります。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様、ご家族の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





## ■ 滋賀県看護連盟の活動 (平成23年6月～12月) ■

### 6/25 滋賀県看護連盟通常総会

● 日 時 / 平成23年6月25日 (土) 13:00～15:30

● 会 場 / 滋賀県看護研修センター

出席者数 88名、委任状提出者 671名、役員出席数 20名



### あべ俊子衆議院議員 特別講演

滋賀県看護連盟 幹事長

山本なお栄

足早にさっそうと会場入りされた、あべ議員。トレードカラーのオレンジのマフラーをなびかせながら、「お元気でしたか？」の大きな声。続いて、歩きながらもう国政報告。会場内は歓迎の拍手の渦。出席された県議会・市議会の議員の皆様も、あべ議員の存在感と会場の盛り上がりで圧倒されている様子。

国政の動きを中心に「看護の現場の疲弊をどう改善するのか」

私たち自身がこの実情を現場で、地域で、いかにアピールするための力を結集していくことが大切であるかを熱く語っていただき、出席者一人ひとりが日々の活動に勇気と力をいただきました。



### 9/14・15 滋賀県支部別会議

● 講師：日本看護連盟幹事長 石田昌宏氏

二日間にわたり県内4カ所で滋賀県役員、支部役員、施設リーダー53名が参加して支部毎のこれからの連盟活動について会議を行いました。

東近江地区支部 支部長 瀧沢きし子



東近江地区支部の出席者は、役員、施設リーダーの計9名でした。

看護連盟の活動は、熱伝導。人に行動変容を起こさせる言動は自分の考えをしっかりと持ち熱意をもって伝えること。自分の熱さ以上には人には伝わりにくいという事を頭に置き、自分の考えをしっかりと持ち熱意をもって相手に伝えることが重要であると学びました。次回の選挙では、今回学んだように具体的な得票数の予測を立て、役員一人一人が全会員に対して熱伝導の原理を取り入れ目標達成しなければならないと強く感じました。

### 10/22 滋賀県・市・町議会議員との交流会

10月22日 (土) に守山市のライズヴィル郡賀山にて、念願の「滋賀県・市・町議会議員との交流会」を開催しました。

【出席議員】・滋賀県議会議員 佐藤健司氏、岩佐弘明氏、三浦治雄氏、西村久子氏、石田祐介氏

・大津市議会議員 八田憲児氏 ・草津市議会議員 杉江 昇氏 ・守山市議会議員 森 貴尉氏

・栗東市議会議員 下田善一郎氏、北川健二氏、三浦 悟氏、林 史代氏、片岡勝哉氏 ・彦根市議会議員 宮田茂雄氏



東近江地区支部 幹事長 荒田 榮

議員交流会と政策要望に初めて出席しました。県下の多数の議員の方に、看護に関する要望に耳を傾けて頂けたことは、私にとって驚きと感動でした。そして、看護の現状において「何が問題で、どのようにしたいのか」ということを誰にでも分かるように伝えることが、いかに大切かを実感しました。そのためには、私たちは、「何をどのようにしたいのか」という要望を看護連盟の中でしっかり意見交換することが重要だと思いました。



### 11/17～19 あべ俊子後援会拡大活動

● 参加者：豊郷病院 外川 栄子・樋口 純子

(感想)

岡山県山間部で現地秘書の案内で一軒一軒のお宅訪問をさせて戴いた。「俊ちゃんいつも応援してるで」と答えて下さる方の方、「うちは〇〇氏を応援してるから」とおっしゃる方、色々な反応を実際に感じながらの訪問であった。

初対面の方といかにコミュニケーションを持てるかがキーとなることを実感した、大変貴重な体験であった。と同時に今後さらに看護職が国会議員になることの意味や重要性を多くの国民に知って頂くこと、それを私たち看護職自らが伝えて行かなければならないことを改めて実感した3日間であった。





## 12/1 リーダーセミナー

●講師：日本看護連盟常任幹事 阿津公子氏

阿津常任幹事の丁寧な講義の後、「要望書の作成」・「看護連盟のリーダーとしてどう活動するか」について2回にわたってグループワークを行いました。

湖北地区支部 幹事長 野洲悦子



今回の県別リーダー研修は、連盟の一員として選挙活動への参加への動機づけからのノウハウを丁寧にレクチャーして戴きました。

特にグループワークにおいて、看護職とは……のところに立ち寄り、自分の思いを意見交換したことは有意義であったと思います。「熱伝導」は、伝達ではなかなか伝わりにくく、やはり臨場する、そこに参加する自覚の動機付けを原点から見直す重要性を感じました。



## 支部活動報告

### 7/30 東近江地区支部研修会

#### 「生活支援技術研修会」

●講師：ナースングサイエンスアカデミー 原川静子氏

東近江敬愛病院 上園恵子



6月12日と7月30日の2日間、54名の看護職が東近江敬愛病院で原川静子先生の生活支援技術の実践研修を受講しました。スライディングシートやバランスボールの使用、微振動などを用いた生活支援技術を学ぶことで、みなさん目からうろこの状態でした。看護職には負担のかからない、患者さんには心地よさと、廃用症候群の予防になる技術です。

合言葉は、「ワンケア・ワンギフト・ワンリハビリ」です。

### 10/8 訪問看護ステーション支部研修会

#### 「災害時における訪問看護の役割」

●講師：兵庫県立大学地域ケア開発研究所

WHO災害と健康危機管理に関する看護協力センター 神崎初美氏

訪問看護ステーション支部 支部長 久木ひろ美

日本全体を揺るがした二つの大きな大震災に看護職として関わられた体験から、災害支援することへの心得を学びました。災害時の重要な心構えは、二つあり、一つ目は一個人として災害が起こっても生き残るため、必要な知識と行動を身につけておく心構え。二つ目は、看護・介護職として災害に備える心構えです。災害時に看護職は何ができるのかを学び、個人や集団に適切な看護ケアが提供できるようになっておくこと。備え時、災害時、災害後、どの時期においても看護ケアは必要であると学びました。滋賀県は災害が少ないので、危機管理に強い感じがすると講師から耳の痛い感想もありました。

### 10/27 湖東地区・彦根中央病院・湖北地区支部合同研修会

#### 「病院や施設・在宅療養される方々の口腔環境を整える」 ～口腔ケアと口腔リハビリ、そして食支援～

●講師：神奈川県茅ヶ崎 村田歯科医院院長 黒岩恭子氏

彦根中央病院 島名真衣子

私は今まで口腔ケアとは、口腔内を清潔に保つという意識が強かったのですが、口腔内を刺激することで、ストレッチやマッサージにもなり、口腔リハビリに繋がるという事を学びました。開口制限、言語障害、肺炎予防、口から食べられるなどの改善や効果が得られていることなども知ることができました。口腔ケアは看護士が行うのではなく言語聴覚士、栄養士を含めたチームで関わっていくことで、口腔内を清潔に保つ以外に多くの目的が達成できることを実感した研修でした。いつも患者さんにとって何が最善かを考えながら看護ケアをして行きたいと思っています。

### 11/12 湖西地区支部研修会

#### 「女性の力を生活に生かす政治の必要性」

●講師：滋賀県看護連盟幹事長 山本なお栄

湖西地区支部 幹事長 中村洋子



湖西地区支部の研修会を、滋賀県看護連盟の山本幹事長に講演をお願いして開催しました。参加人数は役員を含めて24名で、そのほとんどが非会員の方でした。

政治と言うと難しく捉えがちになりますが、(女性の力を生活に生かす政治の必要性)を身近な出来事に例え分かりやすく笑いを交え講演頂いたので、参加した方々はその話に聞き入り、時に傾き、時に隣の方の失笑し、和やかな雰囲気の中ご理解いただけたと思います。







## 第2回 滋賀県・市・町議会議員との交流会

- 日時/平成24年2月25日(土) 14:00～15:30
- 会場/ライズヴィル都賀山

## 賛助会員・OB会員研修会

- 日時/平成24年3月3日(土) 10:30～11:30
- 会場/草津市民交流プラザ(フェリエ南草津)
- 講師/高階恵美子 参議院議員

### 退任役員紹介

お疲れさまでした。

#### 滋賀県看護連盟会員の皆様へ

(元監事) 聖泉大学看護学部 簡井 裕子

昨年まで、監事をさせて頂き、不十分な活動の参加で申し訳なく思っています。会長を始め役員の方々の活躍とご苦勞を深く感謝いたします。

連盟の活動は、我々の身分や労働条件、看護の質を高めるための大切な活動を担っています。我々看護職が「人々の豊かで健康な生活を送るための支援」を充実させるために一人でも多くの会員が連盟に加入し、活動に加わってくださることを願っています。

### 「幹事」の任を終えて

(元幹事) 村上 厚子

一期三年、連盟規約で自己の役割を確認し微力ではありますが幹事としての任を務めさせて頂きました。

連盟の方針や会員の皆様のニーズ等を把握して年度目標・中間目標の具体化、参議院選挙活動の展開、当県の連盟に係る歴史の整理等に関わらせて頂きました。

常に看護現場における「看護」「看護管理」の展開と同様の気持ちですすめさせて頂きました。退任にあたり、会員の皆様には更なる連盟活動へのご理解を頂きますようお願い申し上げますと共に、ご支援賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

### 看護連盟活動に参加して

(元幹事) 山田産婦人科クリニック 瀧石 幸代

今回、任期満了まで幹事を務めさせて頂きました。

数多くの研修会への参加、会議での活動の検討、選挙活動の方法や実践、連盟の大切さ、必要性を多く知ることができました。

退任後も支部での活動に施設リーダーとして参加していきたいと思っています。

微力ですが、連盟活動の大切さを連盟活動の大切さを、一人でも多くの看護師に知ってもらえるように活動していきたいと思っています。

### 新役員紹介

よろしくお願いします。



幹事  
小池眞理子  
(東近江敬愛病院)



幹事  
古川みどり  
(豊郷病院)



幹事  
餅田敬司  
(聖泉大学看護学部看護学科)



監事  
早川忠司  
(長浜赤十字病院)



## 平成24年度の入会受付が 始まりました

看護の力を結集し、  
現場の声を国政に届けよう！  
あなたの入会をお待ちしています！

|     |           |        |
|-----|-----------|--------|
| 年会費 | 日本看護連盟会費  | 5,000円 |
|     | 滋賀県看護連盟会費 | 4,000円 |
|     | 合 計       | 9,000円 |



賛助会員 年会費 一口 500円

看護連盟の主旨にご賛同いただける方であればどなたでも入会できます。

学生会員 年会費 無料

看護師または准看護師の資格を得るために就学している看護学生で、看護連盟の主旨にご賛同いただける方であればどなたでも入会できます。

賛助会員・学生会員ともに各支部または滋賀県看護連盟までお申込ください。

### 編集後記

今回は紙面が「ギョッギョ」  
ホームページの開設で広報紙の発行回数が1回少なかったためですが、皆さん是非ホームページもご覧ください。  
滋賀県看護連盟ホームページ  
<http://www.kangorenmei-shiga.jp/>

東洋羽毛は、滋賀県の看護師さんを応援しています。

東洋羽毛では、羽毛布団のリフォーム・クリーニング  
そして下取りも行っております。  
お気軽にお問い合わせください！

滋賀県看護連盟推薦  
**TUK 東洋羽毛**

東洋羽毛東海販売株式会社 三重営業所  
〒554-0002 三重県津市桜橋3-67-13  
(フリーコール) 0120-585-104  
(ホームページ) <http://www.toyoyume.com.jp>



～健康は快適な睡眠から～